

■2014年度技術支援一覧表(2014年4月1日～)

[短期支援]

No.	申請年月日	実施期間	担当者	依頼者	依頼内容
1	2014/4/17	2014/4/21 2014/4/25	山崎友也	西嶋一欽 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	研究室内配線工事 電源ケーブルの長さをコンセントと機器との距離に応じて調節し、配線を行う。
2	2014/5/14	2014/6/12 2014/6/13	山崎友也 中川潤	松島信一 社会防災研究部門 都市空間安全制御分野	防犯防災総合展での設営および技術に関する説明 平成26年6月12日(木)～13日(金)にかけて、インテックス大阪にて開催される「防犯防災総合展in KANSAI 2014」に、先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業「強震応答実験装置を用いた構造物の耐震性能評価把握手法の確立」事業のブースを出展するため、その設営支援および会期中にブースにて技術的説明の支援を行う。
3	2014/5/20	2014/5/25 2015/6/30	富阪和秀	千木良雅弘 地盤災害研究部門 山地災害環境分野	簡易貫入試験機の作成とサンプラーの改良 以前技術室で作成していただいた簡易貫入試験機と同一のものの作成と、今年の4月に作成いただいたサンプラーの改良。
4	2014/5/21	2014/5/21 2015/5/21	三浦勉 田中大資	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	災害軽減に貢献する地震火山観測研究計画「注水実験による内陸地震の震源断層の研究」 野島断層観測室におけるボアホール地震観測システムの保守。
5	2014/5/30	2014/7/5 2015/7/7	山崎友也 市田児太郎 田中大資	堤大三 流域災害研究センター 流域圏観測分野	砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会 研修会における現地実験の準備、実験補助業務を支援して頂く。
6	2014/6/20	2014/6/19 2014/6/19	三浦勉	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	計算機サーバーの設定作業 研究室において現在使用している計算機サーバーが老朽化しているため、新しく立ち上げるサーバーの基本的な設定作業やバックアップ作業等の補助を行う。
7	2014/7/4	2014/7/7 2014/8/31	三浦勉	加納靖之 地震予知研究センター 地震予知情報分野	モバイル通信を利用したテレメータシステムの整備 臨時観測向けのモバイル通信を利用したテレメータシステムの整備をおこなう。 現在、OCNモバイルONEを利用したテレメータシステムを構築しようとしている。ネットワーク構成、モバイルルータおよび観測機器の設定などの検討を開始し、実際にシステムを構築する段階である。 ・ネットワーク構成のデザイン、設定情報の整理 ・効率的な管理および死活監視方法の検討 ・データを受信する計算機の設計 ・モバイルルータ等の機器の選定および設定内容の検討 ・設定および利用に関する手順書作成
8	2014/7/4	2014/7/4 2014/7/30	富阪和秀	松四雄騎 地盤災害研究部門 山地災害環境分野	テンシオメータポラスカップ連結部の作成 テンシオメータ(土壌負圧計)のポラスカップ部を、本体の塩ビチューブ(外径18mmφ、内径12.5mmφ)に連結するためのアダプターを作成する。試作1-2個でテストしたのち、最大20個程度の作成を依頼したい。 廉価な自作テンシオメータを開発中であり、通常市販価格8-12万円程度の機器を、材料費3万円以下で自在の深度測定用に製作したいと考えている。アダプター部以外の部材はほぼそろっており、この部分ができれば完成し、設置して観測をスタートさせることができる。
9	2014/7/10	2014/7/10 2014/7/30	三浦勉	西村卓也 地震予知研究センター 海溝型地震分野	GNSSによる地殻変動精密観測 GNSSアンテナを固定する金属製ボルトの切断及び加工
10	2014/7/24	2014/8/17 2014/8/18	米田格	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクトニクス分野	中央構造線における電磁気観測 中央構造線周辺での電磁気観測の撤収

11	2014/7/30	2014/8/14 2014/8/16	富阪和秀 波岸彩子	丸山敬 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	“モバイルGISを用いた調査データ入力支援ツール”を用いた、建物耐風性能データの調査・収集 高知県南国市付近において、建物耐風性能データの調査・収集を行う。データ収集に際しては、モバイルGISを用いた調査データ入力支援ツールの使用性の評価も同時に行う。台風などの強風災害における、一般住宅の被害リスク予測に際して、建物耐風性能データを構築することにより、被害モデルの高精度化に寄与し、より高精度な被害予測が期待できる。
12	2014/8/2	2014/9/12 2014/9/14	山崎友也	中島正愛 地震防災研究部門 耐震機構分野	2014年度日本建築学会大会での研究講演・発表 9月12日から14日に神戸大学で開催される、2014年度日本建築学会大会での研究講演・発表。「軽量鋼部材を組み合わせた鋼骨組の省資材耐震補強機構 ―その2 数値解析―」発表者 山崎友也
13	2014/8/8	2014/8/7 2014/8/7	久保輝広	林泰一 流域災害研究センター 流域圏観測分野	気象計測機器の設置及び撤去作業 潮岬風力実験所本館屋上へVaisala製AutomaticWeatherStation(AWS)の設置、旧観測室内の計測機器及び屋外配線の撤去作業一式。
14	2014/8/16	2014/9/3 2014/9/3	山崎友也 中川潤	中島正愛 地震防災研究部門 耐震機構分野	構造実験に用いる試験体製作 耐震構造実験室(強震応答実験室隣)において、構造実験に用いる試験体製作を予定している。当該作業では、屋外において500kg程度の重量物(生コンクリートを入れた鉢)を、高さ1.2mまで持ち上げる作業が必須である。支援依頼はフォークリフトでの重量物移動(持ち上げ)のみであり、作業時間は30分程度を見込む。
15	2014/8/18	2014/8/21 2014/9/3	市田児太郎	大見士朗 地震防災研究部門 地震発生機構分野	上宝観測所・微小地震定常観測点保守作業 焼岳観測点(高山市奥飛騨温泉郷中尾はねだいら)において、データ通信用のVSATシステムの電源ユニットを交換し、動作の確認を行う。同観測点は、中尾温泉から車で5分ほどの場所である。長期停止中の焼岳観測点のデータを復旧させることにより、関係機関へのリアルタイムデータ配信を復活させることができる。
16	2014/8/21	2014/8/21 2014/9/5	中川潤	松島信一 社会防災研究部門 都市空間安全制御分野	地震計充電用ACアダプタの制作 当研究室で保有している地震計SMAR-6A3Pを充電するためのACアダプタを、専用コネクタと市販のACアダプタを接続して制作。地震計の台数分の15セットの制作を希望。SMAR-6A3PのACアダプタが経年劣化や故障や紛失等により数が減ってきているため、効率的な運用が出来なくなっている。地震計の台数分の15セットを新調することができれば、効率的な運用ができるようになり、地震観測や微動観測の効果が向上することが期待される。
17	2014/9/15	2014/9/17 2014/10/3	小松信太郎	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクニクス分野	ロガーの外装製作および組み立て 基盤により販売されているロガーの外装の製作および組み立て作業。現在採択されている科研費においても、同様のロガーを購入し、外装を製作・野外への設置を考えているため、そのノウハウの構築および問題の洗い出し等、もろもろの知見・技術を習得できると期待する。
18	2014/9/17	2014/9/17 2015/10/6	山崎友也	宮澤理穂 地震予知研究センター 地球計測分野	拠点間連携 地震研究所・防災研究所の拠点間連携に伴うシンポジウム開催(10/6,7)にあたり、参加受付をするメールアドレス(転送専用)を作製して頂きたいと思います。
19	2014/9/19	2014/9/16 2014/9/18	久保輝広	林泰一 流域災害研究センター 流域圏観測分野	全学共通科目ポケットゼミ実習の支援 潮岬風力実験所・白浜海象観測所を中心としたフィールドで実施予定の全学共通科目ポケットゼミ『空を観る、海を観る、川を観る』の現地観測実習支援。
20	2014/7/30	2014/8/1 2014/10/30	川崎慎吾	飛田哲男 地盤災害研究部門 地盤防災解析分野	火山灰質粘土の動的変形特性 原位置サンプリングした乱さない火山灰質粘土試料に対し、三軸圧縮試験、中空繰返しねじり試験を行い、振動に対する強度特性の変化を調べる。 非常にテクニクの要求される一連の土質要素試験を行っていただくことで、効率的な研究活動が図られる。また、土質要素試験方法を習熟してもらうことで、技術職員の実験技術の向上が期待される。

21	2014/8/1 2014/9/19	2014/8/1 2014/9/19	波岸彩子	飛田哲男 地盤災害研究部門 地盤防災解析分野	土質力学講義のための実験方法の収録 地盤工学会主催の土質材料一斉試験（ふるいわけ試験，液塑性限界試験，密度試験）に対する技術支援に加え，土質力学講義のための実験方法の収録を行う．収録した教材は，11月にミャンマーで行う京大-JICAがミャンマーで行う教育支援で使用する．
22	2014/10/14	2014/10/23 2014/10/25	三浦勉	大見士朗 地震防災研究部門 地震発生機構分野	焼岳火山の噴火準備過程の研究 臨時地震観測点のメンテナンス
23	2014/10/14	2014/11/27 2014/12/10	三浦勉	大見士朗 地震防災研究部門 地震発生機構分野	ブータンヒマラヤのサイスマテクトニクス ブータン王国で構築中の地震観測網のうち，2観測点において機器のインストールを行い，現地のスタッフにノウハウを伝授する
24	2014/10/14	2014/10/31 2014/11/2	富阪和秀 米田格 久保輝広	林泰一 流域災害研究センター 流域圏観測分野	潮岬一般公開行事支援 11月1日(土)に実施する潮岬風力実験所の一般公開行事のなかで，気象観測の実施の支援
25	2014/10/18	2014/11/10 2014/11/15	小松信太郎	山本圭吾 火山活動研究センター 火山噴火予知分野	桜島火山における水準測量 桜島火山の火山活動に伴った地盤変動を把握するための水準測量を行う．桜島周辺において，支援依頼期間中，1日に3km程度の進捗で測量作業を行う．
26	2014/10/31	2014/11/8 2014/11/16	山崎友也 米田格 田中大資	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクトニクス分野	中央構造線（和歌山）におけるAMT観測 中央構造線断層帯における浅部抵抗構造を明らかにするため，AMT観測を実施する．器材の設置・回収・移設
27	2014/11/5	2014/11/1 2015/11/30	澤田麻沙代	山田真澄 地震防災研究部門 地震発生機構分野	リアルタイム地震モニタリングシステム サーバーのHDにランプがついています。故障してしまっただけです。現在海外出張のため、対応ができないので、メーカーに連絡して交換を依頼したいです。書類等はS310の秘書の松島さんに聞いて下さい。
28	2014/11/6	2014/11/27 2014/11/28	米田格 川崎慎吾	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	野島断層観測室とボアホールサイト周辺の環境整備（草刈り） 野島断層では防災研が中心となって全国共同の研究課題を実施しているが（「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」の一環として）、各種の観測・実験を行うために、野島断層観測室（淡路市）とボアホールサイト周辺の環境整備（草刈り）をお願いしたい。野島断層観測室とボアホール観測孔（1800m、800m、500m）、および人工振動発生装置（アクロス）を利用した各種の観測、実験が、全国大学の研究者により行われているが、年に1回程度、環境整備（草刈り）することにより、現地での作業をスムーズに行うことができる。支援依頼の期間は、11月下旬頃の2日間（1泊2日の出張）の予定。
29	2014/11/15	2014/11/17 2015/2/28	山崎友也 川崎慎吾	倉田真宏 地震防災研究部門 耐震機構分野	実験データのウェブ公開 研究室で関わっている実験データをウェブにて公開し、海外の研究者との連携を推進する段取りを整えており、データの閲覧を希望する利用者に認証を与えるポータルサイトの作成支援を依頼したい。具体的には、データの閲覧を希望する研究者に、氏名・所属・連絡先・アクセスコードの記入を求める。アクセスコードがないものには権限を付与しない、またアクセスコードを持っていても、こちらの求める同意事項を準拠できないと判断される研究者にはデータへ
30	2014/11/17	2015/1/22 2015/1/22	中川潤	中島正愛 地盤災害研究部門 地盤防災解析分野	実大建築構造物完全崩壊振動台実験の見学 1月22日(木)にEーディフェンス 兵庫耐震工学研究センターで行われる、実大建築構造物完全崩壊振動台実験の見学に中川潤氏を派遣していただく。今回見学する実験と来年度の防災研究所での振動台実験が関連しており、実大実験を見学することで、防災研究所での縮小実験を中川潤氏が効率よく作業できることが見込まれるため。
31	2014/11/21	2014/12/19 2015/12/22	富阪和秀 波岸彩子	丸山敬 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	熊本県宇城市における建物耐風性能調査 建物の強風被害リスク評価のための建物耐風性能データベースを構築するために、熊本県宇城市において現地調査を行う（データ収集3日（予備日1日）を含む、3泊4日）。具体的には、宇城市において建物の外観写真を撮影し、建物の高さ、屋根の形、構造種目（木造かコンクリート造かなど）、壁面の開口率などの調査を行う。

32	2014/11/24	2014/11/26 2014/11/26	米田格	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクニクス分野	中央構造線広帯域MT観測 中央構造線で実施中の広帯域MT観測器材の撤収
33	2014/12/2	2014/2/18 2015/2/20	富阪和秀 川崎慎吾	山崎健一 地震予知研究センター リアルタイム総合観測分野	旋盤設置、および観測設備の移設作業等 宇治地区から宮崎観測所に旋盤を移動し、観測所内の工作室に設置する。あわせて、観測所敷地内において機器移設等の作業を実施する。
34	2014/12/9	2014/12/15 2015/2/10	富阪和秀	千木良雅弘 地盤災害研究部門 山地災害環境分野	簡易貫入試験サンプラーの作成 現有の簡易貫入試験装置の先端につけ、直径約1cm、長さ30cmおよび50cmの資料を採取するサンプラーを作成する。試料の採取効率を上げるために、サンプラーは2つに縦割りになる構造とする。
35	2014/12/10	2014/12/10 2015/1/30	富阪和秀	吉谷純一 寄附研究部門（国土技術研究センター） 防災 公共政策分野	等速吸引インレットとダクトの製作 下記の外気を取り込んだダクトから計測器へ空気を吸引する針状のインレットの製作と、ダクトに脱着可能なように取り付け。
36	2014/12/17	2014/12/20 2015/2/28	富阪和秀	千木良雅弘 地盤災害研究部門 山地災害環境分野	貫入試験用中空ロッドの制作 現有の簡易貫入試験用のロッドに代えて、中空の軽量ロッドを作成する。1本の長さは50cmで、合計10m分作成する。現有の簡易貫入試験装置をはるかに軽量化することができ、現地での作業が大変効率的になる。その結果、降雨あるいは地震による表層崩壊発生土層の構造の調達が効果的になる。
37	2014/12/24	2014/12/24 2014/12/24	市田児太郎	高田陽一郎 地震予知研究センター 地殻活動分野	除雪機の使用方法を教わる 私（高田）は上宝観測所にある除雪機の使用方法を理解していないため、これに習熟した市田技術員に教わる。私が除雪機を使えるようになり、冬季をより安全に過ごせるようになる。
38	2014/12/22	2015/1/27 2015/1/29	三浦勉 富阪和秀 米田格 市田児太郎 中川潤 波岸彩子	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測分野	白浜海象観測所・観測並びに通信機器の移設、設置作業 白浜海象観測所が新観測所に移転するにあたり、現在稼働中の観測機器ならびに通信機器を移設、設置する必要がある。本業務では、稼働中の機器を一旦撤収し、場所を移して機器の設置の後、従来同様の状態で稼働させるまでの一連の作業を行う。観測所としては、移転に伴う観測機器、通信機器の停止時間が最小限に抑えることが見込まれる。また、参加される職員の方にとっても、機器の設置、撤収作業を通じて、連続稼働する観測システム、通信システムに関する理解を深める良い機会になると思われる。
39	2015/1/7	2015/1/7 2015/3/31	中川潤	松島信一 社会防災研究部門 都市空間安全制御分野	可搬型地震計の足部作成 当分野で所有している可搬型地震計の足部に不具合があるものがあるため、交換用足部の工
40	2015/1/16	2015/1/19 2015/1/19	三浦勉	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	野島断層の人工振動発生施設における通信機器の点検 野島断層の人工振動発生施設（アクロス）で使用している通信回線および機器に不具合の可能性があるため、NTTとともに機器（モデム）の交換・点検作業を行う。現在、人工振動発生装置（アクロス）による連続運転実験を実施中であり、この保守作業により、実験を順調に進めることができ、1995年兵庫県南部地震発生後の野島断層の強度回復過程の検証を進めることができ

41	2015/1/20	2015/2/8 2015/2/11	川崎慎吾	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクトニクス分野	四国西部域での電磁気観測 四国西部（宿毛周辺）で展開している電磁気観測の器材撤収。1月の調査状況により、器材移設が含まれるかもしれない。期間は2月8日～11日としているが、そのうち連続する3日間の予定。支援を受けてもらえる方が決定し次第、日程を調整したい。
42	2015/1/20	2015/3/9 2015/3/12	小松信太郎	吉村令慧 地震防災研究部門 地震テクトニクス分野	九州（大分周辺）での電磁気観測 九州大学との共同研究において、九州全域での電磁気観測を実施する（本年度から5か年の計画）。本年度は大分周辺において、測定器材を展開する。3月12日までと期間を指定しているが、状況によっては11日解散となる可能性がある。費用は、九州大学負担。公用車の運転をお願いしたい。
43	2015/2/9	2015/3/1 2015/3/31	波岸彩子 三浦勉 川崎慎吾ほか	丸山敬 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	建物耐風性能調査データの整理 熊本県宇城市において行われた建物耐風性能の実地調査データの整理を行う。具体的には、調査で得られた約3000棟の建物の写真を、GIS地図上の位置に対応付けし、各建物ごとにデータシートを作成する。データシートの書式は、依頼者のほうで用意する。建物の強風被害リスクを精度よく予測・評価するためには、実在する建物が持つ耐風性能を精度よく把握することが不可欠である。実在建物の耐風性能に関する高精度な情報が得られれば、風速と被害程度との関係を表す高精度なモデルの作成が可能となり、建物の強風被害リスクを精度よく予測・評価することができて、防災・減災対策に有用な情報を事前に提供することが可能となる。扱うデータの量が多いので、できましたら、2人の派遣を希望します。
44	2015/3/25	2015/3/25 2015/3/25	市田児太郎	高田陽一郎 地震予知研究センター 地殻活動分野	ラックマウントサーバーの脱着支援 ラックマウントサーバー2台をラックから外す必要があり、一人では困難なので、穂高砂防観測所に市田技術職員に支援して戴きたい。ラックマウントサーバーを安全にラックから外すことができ、備品を損なわずに済む。

[長期支援]

1	2014/4/7	2014/4/1 2015/3/31	久保輝広	水谷英朗 流域災害研究センター 流域圏観測分野	河口地形管理に向けた河川下流域の土砂動態調査と予測技術の確立 和歌山県富田川流域における粒度分布調査のための河床材料採取、ボート・GPSを用いた地形
2	2014/4/8	2014/4/8 2014/9/30	山崎友也	竹見哲也 気象・水象災害研究部門 暴風雨・気象環境分野	文部科学省気候変動リスク情報創生プログラム 上記の研究プロジェクトは、最新の気候変動予測モデルの結果を下に地球温暖化予測の影響評価を実施するものである（代表者 中北英一教授；期間：平成24～28年度）。国内の多数の研究機関に所属する総勢100名を超える研究者の共同研究プロジェクトである。多数の研究機関の多数の研究者間での意思疎通と情報交換を密に効率よく行うため、メーリングリストを構築したい。プロジェクト期間の長期技術支援として、メーリングリストの構築と管理運営をお願いしたい。作業時間は、平均すると月あたり4時間以内と想定しています。
3	2014/4/15	2014/4/1 2015/3/31	三浦勉 澤田麻沙代	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究 地震・地殻変動観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他各種観測への技術的支援、および関連するセンター内委員会への参加。
4	2014/4/15	2014/4/1 2015/3/31	米田格	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究 阿武山観測所において、地震・地殻変動観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他各種観測への技術的支援を行う。
5	2014/4/15	2014/4/1 2015/3/31	濱田勇輝	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究 上宝観測所において、地震・地殻変動観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他各種観測への技術的支援を行う。
6	2014/4/15	2014/4/1 2015/3/31	小松信太郎	西上欽也 地震予知研究センター 地震予知情報分野	地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究 宮崎観測所において、地震・地殻変動観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他各種観測への技術的支援を行う。
7	2014/4/23	2014/4/1 2015/3/31	山崎友也 中川潤	松島信一 社会防災研究部門 都市空間安全制御分野	先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業「強震応答実験装置を用いた構造物の耐震性能評価把握手法の確立」 強震応答実験装置および長周期応答実験装置を操作して振動実験を実施する。また、試験体の組立やセンサー設置に関する技術支援を行う。さらに、鋼構造実大試験架構を用いた実験のためのセンサー設置などに関する技術支援を行う。
8	2014/4/24	2014/4/1 2015/3/31	富阪和秀	丸山敬 気象・水象災害研究部門 耐風構造分野	境界層風洞における風速・風圧計測および対飛散物衝撃試験 境界層風洞実験室では建物周囲の風速場の測定および建物に加わる風圧力の測定、さらに、建物外装材の対飛散物衝撃試験を行う。
9	2014/4/24	2014/4/1 2015/3/31	市田児太郎	堤大三 流域災害研究センター 流域圏観測分野	穂高砂防観測所における観測業務全般と施設維持管理 穂高砂防観測所で実施している（1）観測機器の設置・保守作業、データ整理・管理業務（2）屋内・野外実験の補助業務（3）観測所の保守・維持管理作業全般
10	2014/4/26	2014/4/1 2015/3/31	富阪和秀 山崎友也 中川潤	竹門康弘 水資源環境研究センター 社会・生態環境分野	排砂バイパスによる土砂輸送およびダム下流生態系変化の解明 木津川で計測中のハイドロフォン、濁度計、水温計、水位計の継続値や降水量データをダウンロードし、分析に供するシステムを運用する支援、ならびに計測情報から土砂移動量を推定する方法を確立するための野外実験の補助。
11	2014/4/26	2014/4/1 2015/3/31	久保輝広	馬場康之 流域災害研究センター 流域圏観測研究領域	白浜海象観測所の運営全般において、技術支援を行う。 主な業務内容を列挙すると、以下の通りである。施設維持管理、観測・計測業務、データ処理、観測・計測機器維持管理、公用車管理、地元自治体等対応、開発・設計、災害調査
12	2014/4/26	2014/4/1 2015/3/31	園田忠臣 関健次郎	井口正人 火山活動研究センター 火山噴火予知分野	火山観測に基づく火山噴火予知研究 1. 常時観測点の保守、2. 臨時観測点のデータ交換と保守点検、3. 臨時観測及び調査の補助、4. 大学院教育の補助、5. 施設の維持管理、6. 新規観測機器および施設の設置

13	2014/5/1 2015/3/31	2014/4/1 2015/3/31	加茂正人 吉田義則 藤原清司	中川一 流域災害研究センター 河川防災システム分野	宇治川オープンラボラトリーにおける技術支援 流域災害研究センター宇治川オープンラボラトリーを円滑に管理・運営するために、施設設備全般の保守・管理のみならず、所内外の共同利用研究者を含む研究者・学生等の利用者に対する施設利用上の助言や利用時における技術支援等に携わる。
14	2014/5/19 2015/3/31	2014/5/19 2015/3/31	山崎友也	川瀬博 社会防災研究部門 都市空間安全制御分野	VLANの新設 研究企画推進室のVLANの新設手続きと、その管理
15	2014/5/19 2015/3/31	2014/4/1 2015/3/31	松浦秀起	多々納裕一 社会防災研究部門 防災社会システム分野	広報出版企画室支援 広報出版企画室の業務： ・防災研究所ホームページ・Facebook管理運営・更新 ・防災研究所ホームページリニューアル(2014年度予定) ・防災研究所のデータベースシステム、メーリングリスト管理 ・防災研究所の刊行物編集 ・広報出版専門委員会、行事推進専門委員会、広報出版企画室ミーティングの参加 ・公開講座、オープンキャンパス、研究発表講演会（懇親会含む）のサポート ・広報出版企画室の安全衛生、環境整備及び連携研究棟 建物管理 ・対外広報（メディア、一般の問い合わせ等） ・外部来訪者の対応（部屋の設営、サイエンスコミュニケーターのサポート等） ・防災ミュージアムの整備・見学対応 ・その他、防災研究所所長、副所長のサポート（主に広報やイベントに関する雑務、資料作成等）
16	2014/6/9 2015/3/31	2014/4/1 2015/3/31	川崎慎吾	飛田哲男 地盤災害研究部門 地盤防災解析分野	遠心力載荷装置を利用した地盤構造物に対する模型実験（安全教育と実験補助） 学生に対する安全教育を担当教員とともに。クレーン作業等資格を要する作業を行うとともに、実験作業に対する助言を与え、また補助する。
17	2014/6/30 2015/3/31	2014/7/20 2015/3/31	三浦勉 米田格 田中大資	西村卓也 地震予知研究センター	GNSSによる地殻変動稠密観測 橋本さん、高田さんと共同で行うGNSS観測点の選点、設置（直営）、役務（発注）監督、保守等の支援をお願いしたいと思います。今年度採択された科研費等によって、今年度中にGNSS観測点を20点程度新設したいと考えています。設置予定場所については、新潟県、長野県、岐阜県、鳥取県、島根県等です。
18	2014/6/26 2015/3/31	2014/6/27 2015/3/31	久保輝広	水谷英朗 流域災害研究センター 流域圏観測分野	西谷川流域内における萌芽的観測研究支援 平成26年度短期滞在型共同研究『森林の管理状況が河道災害のポテンシャルへ与える影響評価へ向けた萌芽的観測研究』 流出モデルを用いた土砂生産予測手法の開発を念頭に、流出モデルにより評価される地中水量の観測および地中水量と土砂生産量の関係性を把握するための流砂量観測を実施する。富田川支川西谷川流域内にある集水井戸（3箇所）内に水位計を設置し地中水量の長期連続観測、また、集水井戸の下流側において短期の流量・河床変動量・流砂量観測を行う。

19	2014/7/2	2014/8/1 2015/3/31	三浦勉 米田格 田中大資	伊藤喜宏 地震予知研究センター 地震予知情報分野	海底圧力・地震観測による沈み込み帯浅部の固着度調査 沈み込み帯における地震性固着度の評価を目的とした、海底圧力計・地震計の設置作業を船舶を用いて実施する。 本調査に関連した業務は以下のとおり。 1. 機材の事前準備 2. 乗船時作業 3. 機材の事後整備 本調査は予知センターが関連する以下の予算に基づく調査研究である。 科研費（2014-2019年度：基盤A海外：代表 伊藤）、特別推進（2014-2019年度：分担：伊藤）、事業費（2014-2019年度）「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」 上記研究計画に基づき、以下の地域で海底圧力・地震観測を実施する。 1. ニュージーランド北島 東方沖 2. 日本海溝周辺 3. 熊野灘 上記地域において年1-2回、1-3週間程度の乗船を含む出張がある。
20	2014/7/4	2014/7/4 2014/11/30	澤田麻沙代 川崎慎吾 中川潤	松四雄騎 地盤災害研究部門 山地災害環境分野	葛川観測サイトにおけるテンシオメータおよび自動採水器の設置 滋賀県大津市葛川の斜面水文観測サイトにおいて、土壌水分量を観測するためのテンシオメータと湧水の水質を観測するための自動採水器の設置、および既存水文観測施設のメンテナンスの補助。 2012年より岩盤湧水および岩盤内の深層地下水の連続観測を継続しているが、新たに土壌中の浅層地下水の観測を計画しており、テンシオメータを設置すればそれが可能となる。また岩盤湧水の水質の連続モニタリングを計画しており、自動採水器を設置すれば、これまでに得られている電気伝導度変化をイオン濃度変化から解釈することができるようになる。これらにより、JSTCREST委託事業の山体地下水の動態解明をさらに進めることができる。
21	2014/10/24	2014/4/1 2015/3/31	小松信太郎 三浦勉	澁谷拓郎 地震予知研究センター 地殻活動分野	南九州での地震臨時観測 宮崎県と鹿児島県において宮崎観測所を拠点として20数点の臨時観測を行っている。15~20日ごとに数点ずつ日帰りデータ回収を行う。宇治では臨時観測点のデータと定常観測点のデータを地震ごとに切り出してマージする作業とそのデータサーバの運用を行う。
22	2014/10/24	2014/10/1 2015/3/31	小松信太郎 三浦勉	澁谷拓郎 地震予知研究センター 地殻活動分野	四国東部での地震臨時観測 今年度から5年間、四国において地震臨時観測を計画している。今年度は東部を南北に縦断する測線上に7観測点を設置する。その観測点調査と設置後のデータ処理を行う。データ処理は臨時観測のデータと定常観測のデータをマージし、地震ごとに切り出すことと、そのデータサーバの管理・運用である。

2012年度、短期38件、長期19件、計57件
2013年度、短期30件、長期16件、計46件
2014年度、短期44件、長期22件、計66件